

企画セッション

◆ ネイチャーポジティブー生物多様性科学のビジネスモデルと知財戦略ー ◆

【概 要】

社会・経済環境が大きく変化する中、持続可能な社会を実現するため、政府が 2024 年 6 月に公表した「知的財産推進計画 2024」は、イノベーション創出を促す知財エコシステムの再構築を掲げ、同時期にまとめられた「新たなクールジャパン戦略」との両輪で、知的創造サイクルの好循環実現をめざしている。

生命科学の分野では、特に 2010 年生物多様性条約 COP10 以降、学術・産業・行政の連携の下、地球という有限のリソースを賢く活用しながら豊かな人間社会を実現するという機運の高まりを背景に、遺伝資源から生じる利益の公正・衡平な配分を実現する ABS (Access and Benefit-Sharing) の考え方が浸透しつつある。

本企画では、「ネイチャーポジティブ」という考え方について、生物多様性の保全・回復を図りつつ、サイエンスの成果を迅速かつ効果的に社会に還元するための、いわば生物多様性のビジネスモデルとして、知財との関連やバイオベンチャーの動向分析等をふまえ、検討する。

【内 容】

■話題提供

①「ネイチャーポジティブ・イノベーションの現状と展望」

服部 徹 (PwC コンサルティング合同会社 シニアマネージャ)

②「ネイチャーポジティブに向けた国際条約における動向」

小林 邦彦 (一般社団法人海外環境協力センター (OECC))

■コメント

「アカデミアの視点から：遺伝資源を用いた知財戦略、大学・研究機関のスタートアップ事例をふまえて」

鈴木 睦昭 (国立遺伝学研究所リサーチ&イノベーション・ブリッジセンターABS 支援室 室長)

■パネルディスカッション

パネリスト：

服部 徹、小林 邦彦、稲田 勇次 (PwC コンサルティング合同会社 シニアアソシエイト)、長谷川 麻子 (国立遺伝学研究所 ABS 支援室 特任研究員)

モデレーター：

鈴木睦昭 (国立遺伝学研究所リサーチ&イノベーション・ブリッジセンターABS 支援室室長)

話題：

- フードバリューチェーン関連技術の動向
- 生物多様性再興に向けたアクション事例：ABS 実施の現場から

■質疑応答

企画セッション

◆ ネイチャーポジティブー生物多様性科学のビジネスモデルと知財戦略 ◆

【講演者・コメンテーター（登壇順）】

服部 徹（はっとり とおる）（PwC コンサルティング合同会社 シニアマネージャ）

PwC コンサルティングにて生物多様性、ネイチャーポジティブ分野を担当。並行して 20 年間、ネイチャーポジティブに関連する分野での NGO/NPO 活動を行い、現在に至る。東北大学大学院環境科学研究科 環境経済学分野を修了。著書に『ネイチャーポジティブ経営の実践』（監修：PwC Japan グループ 共著、2023 年、日本経済出版社）。寄稿論文に「ビジネスにおける、ネイチャーポジティブについて」（『リバーフロント』 2024/Vol. 98 リバーフロント研究所）他。

小林 邦彦（こばやし くにひこ）（一般社団法人海外環境協力センター（OECC））

環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室非常勤職員、岐阜大学研究推進社会連携機構特任助教、総合地球環境学研究所研究部プログラム研究員、Biodiversity International フェローシップを経て、現在に至る。修士（地球環境学）。

鈴木 睦昭（すずき むつあき）（国立遺伝学研究所リサーチ&イノベーション・ブリッジセンターABS 支援室 室長）

テキサス大学医学生物学研究所博士研究員、静岡県立大学助手・学内講師、カルフォルニア大学ロサンゼルス校 Visiting Professor、日本たばこ産業株式会社主任研究員、東京大学先端科学技術研究所知的財産マネジメント人材育成プログラム、国立遺伝学研究所産学連携・知的財産室室長を経て、現職に至る。2013 年度、文部科学省技術参与及び環境省「名古屋議定書に係る国内措置のあり方検討会」委員兼任。COP10～COP16 において日本政府団の一員として活動。

稲田 勇次（いなだ ゆうじ）（PwC コンサルティング合同会社 シニアアソシエイト）

PwC コンサルティングにて農林水産分野における生物多様性を担当。Cranfield University, MSc in Future Food Sustainability を修了。独立行政法人国際協力機構、アフリカ連合開発機関出向等を経て現在に至る。

長谷川 麻子（はせがわ あさこ）（国立遺伝学研究所リサーチ&イノベーション・ブリッジセンターABS 支援室 特任研究員）

日本科学未来館、京都大学大学院情報学研究科特定研究員、文部科学省技術参与、総合地球環境学研究所特任助教、日本学術振興会世界トップレベル拠点形成推進センター（文部科学省 WPI プログラム事務局）専門職員、東北大学病院広報室副室長/特任助教、国立遺伝学研究所文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）広報室特任研究員を経て、現在に至る。文学修士（ロシア文学）。